

## 神戸21世紀・復興記念事業

# 「すまい・まちづくりフェア」

現在、神戸市内全域で、震災復興支援への感謝の気持ちを込め、復興したまちをお披露目することを目的として、「神戸21世紀・復興記念事業」が開催されています。その一環として「すまい・まちづくりフェア」が、4月20日より9月30日まで、中突堤周辺を主会場に開催されます。

同フェアでは、神戸のすまいとまちづくりをテーマに、その歴史や特色と震災以降のすまい・まちを様々な角度から検証するとともに、「見る・知る・学ぶ・取り組む」をキーワードにして、市民・ボランティア・事業者・行政等が協働で参画し、様々な催しや展示を通して、広く市民に楽しんでもらいながら、これからのすまいとまちづくりを考えていきます。

同フェアでは、次の4つの事業を行います。

### 1. 街並みモデルタウン

大規模な空地を利用して、環境共生住宅や性能表示住宅など、テーマ性を持った次世代型住宅が建ち並び、街並みの住宅展示場を開設します。また、在来木造住宅を建てる過程と主要な構造を紹介する「なるほど住宅」を設置するなど、すまいに関する様々な情報を発信します。

### 2. 街なかモデルハウス

市街地内の未利用地（民有地、市有地）を利用して、建築家、住宅事業者、建設業者等から住宅計画の提案を現在募集しています。応募された作品は展示館で紹介するとともに、当選した地域特性を活かした市街地住宅をモデルハウスとして建設・展示し、ユーザーを募ります。

また、建築中の建物をモデルハウスとして紹介し、住宅性能表示制度や住宅のチェックポイントを啓発するセミナー等をあわせて開催します。

### 3. ラリーイベント

市内の歴史的街並み、ユニークな建築、復興まちづくり地域、モデルハウス、モデルタウン等をめぐるウォッチングラリーを開催します。

ラリーのコースとしては、フリーラリーのほか、次のようなものを考えています。

#### 《特別ラリー》

1. 東灘…御影・住吉の住宅・まちなみをめぐる
2. 灘…灘百選をめぐる
3. 長田…駒ヶ林の祭りを核に長田南部の下町をめぐる
4. 兵庫…地下鉄海岸線開通にあわせて「歴史花回道ウォーク」の一部をめぐる

#### 《ウルトララリー》

##### オープニングラリー

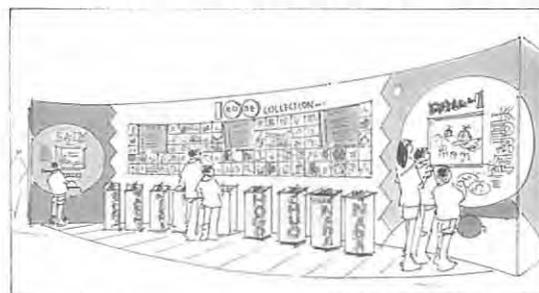
市街地の復興まちづくりを見ながら、1～3日かけて歩く。

### 4. 展示・セミナー

神戸のすまい・まちづくりの紹介展示、地域セミナー、その他市民参加の各種イベントを開催します。現在、下記のような展示等を検討しています。

- ①なつかしのコミュニティタウン  
昭和30年代の市営住宅・長屋を再現します。
- ②シアター  
現在の神戸の街の状況を紹介します。
- ③神戸まちなみ百選
- ④すまいで楽しむガーデニングセミナー

↓《神戸まちなみ百選 イメージパース》



以上のように様々な企画を考えていますので、皆さんもぜひ一度足を運んでみてください。



#### 《問い合わせ先》

〒650-8570  
神戸市中央区加納町6-5-1  
「すまい・まちづくりフェア実行委員会事務局」  
TEL: 078-333-3396 FAX: 078-327-4134  
E-mail: [kobe2001@violin.ocn.ne.jp](mailto:kobe2001@violin.ocn.ne.jp)



## 歴史を活かすということ 4

### ●歴史の謎

「邪馬台国はどこにあったのか」とか「高松塚古墳はいったい誰の墓なのか」など、歴史にまつわる謎は人々のロマンをかきたてるところがあるのか、多くの関心を集める。

それほど壮大な話ではないにせよ、歴史に関する仕事に携わっていると、ときどき小さな謎にぶつかることがあり、皆で「こうではないか、ああではないか」と推理しながら話を進める。謎解きは歴史の楽しさのひとつである。

今回は、ちょっと気楽に、謎解きや推理にまつわる話をご紹介しますと思う。

### ●「萌黄の館」が「白い異人館」に変わった・・・？

北野町に「萌黄の館」という薄緑色の異人館がある。もともこの建物は真白い外壁から「白い異人館」と呼ばれて親しまれ、神戸市が借り上げて公開してからもその名前で通ってきた。内部も漆喰塗りの白い壁で覆われ、シンプルで落ち着いた印象の建物だった。

昭和62年に解体修理を行うため、外壁のペンキや内装を丁寧に剥がしてみたところ、創建当時の外壁は緑色だったことが分かった。さらに内部も、各部屋が水色やピンク色に塗り分けられ、花模様の壁紙まで貼られた大変カラフルな建物だった。

派手でカラフルな建物がいつ180度印象の違う白い異人館に変わったのか。調べを進めると明治36年の建造後5～6年たった時ということがわかった。となると、外壁や内装もまださほど痛んでいない時期にどうして塗り替えてしまったのだろう。

この建物はもともとハンターシャープというアメリカ総領事の自邸として建てられたものだった。その後所有者は転々として、最終的に神戸電鉄の社長も務めた小林秀雄氏（故人、現在も小林家の所有）に落ち着くのだが、その2代目の所有者がドイツ人だった。

この時に塗り替えられたわけだが、子孫を探し出して、なぜ塗り替えることになったかと尋ねたところ、「祖父たちはアメリカ人が嫌いだったんです。」という答えが返ってきた。話によると、引越し早々アメリカ流のカラフルな色使いや派手な壁紙を嫌って、ドイツ風のシンプルなデザインに変えていったらしい。

その時以来長らく白い異人館であった建物も、当初復元を旨とする文化財修理の原則にもとづいて、創建当時のカラフルな姿に戻され、名前も「萌黄の館」と改められた。

実はこの修理の際、創建当時の形がどんなものだったか全く手がかりのなかった照明器具については、止むなくこのドイツ人の持っていた写真をもとに復元したため、ドイツ風のデザインになっている。米独混在のハイブリッドな空間には、初代のアメリカ人も2代目のドイツ人も地下で苦笑していることだろう。



### ●「風見鶏の館」は「ラインの館」？

「風見鶏の館」は昭和59年に修理されたが、初代オーナーの娘さんが当時まだ健在であり、昔の写真もたくさん持っておられたので、萌黄の館のような元の状態が全くわからないという苦労はしなくてすんだ。

それでも昔の写真に写っている正面の門に書かれた文字と文様が何なのかよくわからなかった。表札かと思ったが、R・・・と書かれた文字は所有者の名前ゴットフリート・トーマスではない。ドイツ語であることは確からしいので、ドイツ領事館に頼んで調べてもらおうと「Rhenania」と書いてあるようだ。「ライン川の」という意味で、娘さんによれば、父親のトーマス氏はライン川が好きで、自邸を「Villa Rhenania（ライン川の家）」と呼んでいたそう。

これで文字は判明したが、隣の文様がわからない。いろいろ伝手を頼って調べてみると、リボンの文様でその結んだ形により“幸福”とか“平和”とかいろいろな意味を持たせているらしい。写真を元にできるだけ忠実に復元した。

この他にも、新在家の六甲パインモールのレンガが作られた年代を調べて建物が出来た時期を推定したり、御影や住吉付近の発掘調査現場から「菜の花の沖」にも出てくる水車小屋の跡を見つけたり、明治時代の街の写真に写っている建物を特定することでその写真が撮られた年を探ったり、歴史にまつわる出来事に関して、ささいなことでも何かを発見する喜びはけっこう大きいものがある。

浜田有司（住宅局住環境整備課係長）

# お菓子のまちで、春のしあわせ見つけましょ

今年の復興まちづくりセミナーは、灘区から東灘区にかけての地域で洋菓子店などを巡り「まちの景観」に対する影響とまちの復興状況を見てまわります。

1. 日 時 3月10日(土) 午前11時～午後4時30分

2. 集合場所 六甲道勤労市民センター大会議室

3. 受 付 10時30分から先着100名

多数で会場に入りきれない場合でも、地図とアンケート用紙をお渡ししますのでまち歩きにはご参加いただけます。

※参加費無料(洋菓子等の購入は実費)

4. 内 容 集合場所にて簡単なオリエンテーションを行い、そのあと自由にエリア内の洋菓子店めぐりを行い、店の雰囲気やまち並に対する配慮等を観察します。

ゴールは、JR住吉駅前の東灘区民センター第1会議室です。

アンケートの記入と小休止にご利用ください

## まちづくり会館からのお知らせ

こうべまちづくり会館 地階ギャラリーの予定

期 間	内 容・テ ー マ	主 催 者
2月1日(木)～6日(火)	第12回公募写真展	(財)兵庫労働者福祉基金協会
2月8日(木)～13日(火)	仁影会写真展	緒方 しげを
2月15日(木)～20日(火)	全日本写真連盟兵庫県委員展・入賞作品展	全日本写真連盟兵庫県本部
2月22日(木)～27日(火)	ぐるーぷ・ひらの展(油彩)	ぐるーぷ・ひらの
3月1日(木)～6日(火)	聖雲会第20回水墨・南画展	玉垣 華聖

こうべまちづくり会館 1階オープンギャラリーの展示

2月1日(木)～27日(火)	第2回中央区こどもきらめき造形展	中央区まちづくり推進課
----------------	------------------	-------------

図書販売のお知らせ

コンパクトシティ持続可能な都市形態を求めて	¥3,000	別途送料を申し受けます。 申し込みは、当センターまで
協働のまちづくり・すまいづくり —震災復興土地区画整理における共同建替の記録—	¥1,500	

### すまい・まちづくりのご相談は

- すまい・まちづくり人材センター  
(こうべまちづくり会館 3F)  
電話 078-361-4377 FAX 078-361-4584  
受付は、月・火・木・金曜の午前10時～午後5時
- 土・日・祝日は  
まちづくり相談コーナー で受け付けます  
(こうべまちづくり会館 4F)  
時間は、午前10時～午後5時

### 自治会活動などのご相談は

- コミュニティ相談センター(まちづくり会館 4F)  
会報等の印刷サービスや学習会へのインストラクター派遣など  
受付:午前10時～午後6時(水曜・年末年始は休館)  
電話 078-361-4565



「あーばんとーく」では、これからも皆様に親しまれるニュースを提供したいと考えております。  
読者の皆様からのご意見、まちづくりに関する耳寄りな情報、まちの話題等の投稿をお待ちしています。